

## 第2期武蔵野市環境啓発施設運営会議（第9回）議事要録

日 時 令和5年6月30日（金）開会 午後6時 閉会 午後8時15分

開催方法 実地及びオンライン

参加者 委員9名、事務局7名

小澤委員長、鈴木副委員長、光田委員、幕田委員、中西委員、村井委員、  
新保委員、野村委員、大塚委員

### 1 議事

施設予約利用の試行結果と今後の運用について

### 2 報告事項

- (1) 令和4年度施設来館及び実施事業等の状況について
- (2) 直近の事業進捗について
  - ・環境展
  - ・緑のカーテンレポーター
  - ・ワークショップ（夏版）

### 3 その他

#### 委員意見・質疑及び事務局回答

発言者	要旨
1. 議事	
事務局	<p>資料1、2について説明。</p> <p>昨年9月1日から施設貸出を実施したが、年度末までで8件だった。利用登録時の手続きが煩雑で登録自体が難しかったこと、利用要件が環境啓発活動の狭義の内容でないと利用できないと感じるような書き方だったこと、周知が十分ではなかったことの3点を課題とし、解決しながら本格的な運用を開始したい。</p> <p>具体的修正点としては、施設が分かりやすいよう写真を入れた。カフェスペースでの飲食や、クリーンセンターのキッチンのあるコミュニティラウンジでの飲食を伴う催しを可能にした。予約利用の要件を緩め、環境問題を原則とし、施設見学や環境問題の紹介等を組み合わせた催し・講座等にも利用できるよう追記した。利用対象年齢の「18歳以上」「市内の団体、市外の団体」については、記載をなくした。「催し物の周知の協力について」が追加され、施設を予約利用する催し物の参加者募集等をむさしののエコ re ゴートの SNS</p>

	<p>等で掲載できるようにした。「利用に際してのお願い」は、読みやすいように大きなものだけお伝え、詳細については別紙にして簡素化した。飲み物は館内全域に持って入れるように変更した。「館内の営利行為はできない」となっていたが、「実費相当の料金徴収についてはできる」と記載した。</p> <p>ルールを緩和して問題が生じた場合は、次回利用時には対策をお願いし、しっかりと対策を講じない方にはお貸ししない形にする。ルール自体が変わっていく可能性もあるので、手引きは利用状況に応じて見直すこと、予約利用申込の際は最新版を確認することを記載し、柔軟に利用できるルールで運用したい。</p>
委員長	<p>だいぶ簡略化されたと思う。</p> <p>副委員長から『ちきゅうおひとりさん』という絵本をいただいた。こういう絵本の読み聞かせをやる場合の何か齟齬（そご）がないか、他の利用経験がある委員も含めて、ご意見を伺いたいとのことである。</p>
委員	<p>非常に簡略化されて使いやすくなったなど感じる。</p> <p>「随時見直し」や「利用し問題が生じた場合には、次回利用に際して対策を講じいただく必要があります」は押し付けに感じられるので、「対策を運営側と話し合しましょう」のほうがいいと思う。</p>
事務局	<p>管理側の思いとしては、「話し合いに応じてくれない場合には貸せない」という強い立場も欲しいが、普通に利用されている方たちを威圧するつもりはないので、表現についてはご意見を参考に柔らかくしたい。</p>
副委員長	<p>ホームページを見れば分かるかもしれないが、どこからどこまでがフリースペースやものづくり工房か、入り口との関係はどうか等の平面図があると、使い勝手が随分違う。手引きで分かるようにしたほうがいい。</p> <p>この絵本は私が企画・構成して文章を考え、札幌の教え子が線画を描き、イタリアの教え子が色塗りをして、1回も会わずにウェブで作った。ライブドローイングという手法。この続編制作時は、エコ re ゴートでライブドローイングを再現してみたい。できたものの展示だけではなく、動きがあるほうが面白い。想定していないような使われ方が楽しみである。</p>
委員	<p>すごく簡略化して使いやすいという印象があるが、申込方法が申請書・企画書に記入して申請するので、窓口でないと申込みができない。登録手続き等のため、初めての方には対面でいいが、2回目</p>

	以降はメールに申込書を添付したり、フォームに入力で申請できれば利便性高くなると思う。
委員	本当に簡略化して分かりやすくなっていると思う。環境と関係のないことでも使えるんじゃないかと言っていた方がいたが、そこは難しい。「環境啓発」「環境に関連する活動」というこの表現が一番いいかなと思う。
委員	簡単化していて、いいと思う。トイレの位置等が分かっていたほうが企画しやすい。1階、2階の平面図、地図が載っていたらすごく見やすいと思った。
委員長	これはインターネットだけで申し込むのか。最近の若い人がするように、スマホで QR コードで読んで、そのままリンク先で入力できるようになっているのかを含めてご意見を。
委員	今、市役所の帯状疱疹やインフルエンザの予防接種等はみんなネットでの申込みになっている。高齢者には QR コードは文字が小さく、パソコンではできるけれども、スマホは使いにくい。申込みをして2回目以降は、変更・取消をメールでできるなら十分可能だろうと思う 施設アクセスへの利便性向上が課題とあるが、アクセスも含めてこの施設があること自体のPRが行き届いてない。PR不足のために申込みにつながっていないのではないかなと思う。
委員長	どこまで緩くして、可能性を広げていくか。やはりある程度の制約はどうだろうか。コロナ禍で、知ってもらえる機会が減ったかとは思いますがどうか。
委員	「環境啓発の環境に関連する活動」は書いておき、申込み時に関係なさそうな内容だったらこのようにと言えればいい。あとは来た人ごとに対応するしかないと思う。 エコ re ゾートがどこにあるかが分からないというのは感じることもある。アピールは必要と思いつつ、いい案が思い浮かばない。連携会議等で何か知恵が出ていたら紹介してほしい。
委員	以前の記録で、ムーブスのルートを変えてエコ re ゾートに来るようにしてはという意見があったらしいが、これは非現実的で無理という話になった。 今は市役所行きのバスがあるので、降車時に「エコ re ゾート」を言ってもらってはどうかという意見があった。「エコ re ゾートとクリーンセンターと総合体育館に行く方はこちらでお降りください」と言ってもらおう。お金がかかるどうかは分からないが、可能であれば

	<p>ば一つのアイデアだと思う。バスで言ってもらおうとか、バスの行き先に付けてもらおうとか、すごくいいアイデアだと思った。</p>
委員長	<p>交差点の所の表示は変わっている。</p>
委員	<p>緑町コミセンのバス停の「裏」という名前を「前」に変えてもらいたい。</p> <p>武蔵境から市役所に行くときに、緑町コミセン、エコ re ゾートを通して市役所まで行くバスを通してほしいという要望には、運転手が少なくて延ばすことはできないと言われている。</p> <p>手引書の一番後ろに、市役所から体育館、クリーンセンター、横にエコ re ゾート、もしくは緑町コミセンの地図を載せていただきたい。漫画チックでも構わないので分かりやすい地図にして、「三鷹駅から市役所前で降りて、歩いて3分」等を記載し、降りる所にエコ re ゾートはこちらと分かる看板を付けていただきたい。</p> <p>入り口付近には、大きい照明で、横からでも見れるような看板を付けてほしい。</p>
事務局	<p>看板は屋外広告物になる。屋外に付けると、法的なものが絡む可能性がある。</p>
委員	<p>屋外ではなく、内側のこの階段の中にエコ re ゾートというのがない。</p>
事務局	<p>担当が考えるが、法的な規制もあるということをご紹介させていただきます。</p>
委員	<p>通路に看板を置けないことは知っている。</p>
事務局	<p>ここに予約の開始日が先着順なのかどうか書かれていない。「施設1日あたり2施設まで」と書いてあるが、これが基本なら、「それより多く使いたい場合はご相談ください」の記載があってもいいかと思うので、お考えいただきたい。</p> <p>SNS の利用だとかアクセスの図だといったものは当然あったほうがいいので改善させていただければと思う。</p>
事務局	<p>資料1について、続きの説明。</p> <p>7月の中旬にはこれで運用開始したい。ご指摘いただいた内容を含めて、修正をかけてやっていきたいと思っている。</p> <p>地図と平面図をしっかりと入れるべきというご意見をたくさんいただいた。地図は一番後ろの可能性もあるが、1ページの施設について書かれている所の文字を抑えてその下に、平面図は3ページ目のクリーンセンターの下の空き部分に施設の写真と地図が見える</p>

	<p>ような形でイメージしている。</p> <p>ホームページやスマホ等での申込みについては、技術が追い付かずできていない状況。新しい体制の中でホームページを作る技術等を勉強しているので、遠からずそういった仕組みを入れられるように努力したい。</p> <p>バス停の名前については難しいとは思うが、市役所の交通部署でバス業者さんと話し合う機会があるので、一回声を掛けてみたい。バスの中の案内は基本的には商業ベースなので、有料だと難しい。無料ベースでどこまでできるのか相談してみたい。</p> <p>先着順については、この記載の仕方だと先着順と理解していただけるかと思っている。そういう運営にしたい。</p> <p>可能性がある所では「要相談」という書き方をしているが、一度をこれを消して、一番最後の注意書きで「ここで記載されている以外の使い方をしたい場合にはご相談ください」というような注意書きをするのがよいかとも思う。</p>
副委員長	<p>昭和記念公園の花みどり文化センターがお手本になる。私が 2006 年から 4 年ぐらいに、基本計画から基本設計、実施設計、施工管理、運営・展示に全部関わった。</p> <p>施設のコンセプトや空間構成はかなり似ており、使い勝手や利用規約が先行して 10 年ぐらい実績があって、多様な使い方をしている。規模は大きく、ここはそのミニチュア的な感じ。問題もかなり出ている。</p> <p>最初は公園緑地管理財団がやっていて、今の指定管理者は西武造園。指定管理者が変わると使い勝手が変わる。展示は以前私が関わった昭和天皇と牧野富太郎の関係性のものを使い回して、今またやっている。</p> <p>ストックや今までに付き合っている組織等を研究してみるといいと思う。ヒアリングに行くと詳しく教えてくれる。</p>
委員長	<p>1 日あたり 2 施設までとあるが、個人で登録して机一つだけで、絵本を通して環境を学ぶとか、学校の先生が環境教育、ESD の相談に乗るのも 1 施設になるのか。</p>
事務局	<p>今のところは 1 施設であると思う。非常に柔軟に対応できれば、机一つずつお貸ししたりもあるのかもしれない。</p> <p>小澤委員長が 1 施設として机一つしか使われていないときには、ほかの方が入ってきて机を使われても多分問題ない。館のほうでそこをコントロールはせず、利用者や来館者でコミュニケーションを</p>

	取っていただけるといいと思う。
委員長	以前、もやもや会議のときに、誰かがお話しして来場者も椅子持ってきて座ってということをやったことがある。そういうのも1施設、もやもや会議もそうなるのか。
事務局	もやもや会議と関連するかどうかで、コミュニティセンターでも予約がない場合に即日使える場合がある。フリースペースや、空いている場所があれば、即日企画ができるような自由度が欲しいというのは話し合っている。きっちり決めるところと、少し隙間をつくるところを、うまく運営の中に生かしていけるといいと思う。
委員長	結構武蔵野市には環境等への興味関心が強い住民の方が多いと思うので、団体の登録だけではなく、工作をやっているところの端やカフェスペースでやっていいのかとか、予約が要るのかとか、少し柔軟に書いていただけるとありがたい。
事務局	今回の利用ルールは、連携会議での話もあって、割と狭い厳しい設定が入っているように思う。「いろいろな方々に使っていただきたいけれども、まずは環境から」「市内の団体を優遇してほしい」というようなところが設計の背景に入っていたが、やってみれば随分余裕があるので、利用希望者にはご相談に応じて提案しながら実現のお手伝いをするのがいいと思う。市民の方々に体験していただける機会を、借りようとしている方々と一緒につくっていければと思う。
委員長	<p>連携会議を傍聴して、登録団体の方の中で、自分たちの活動のスペースができたというニュアンスが当初強かったような気がしたが、議論していくうちに、少し厳しめかという問いが出ていた。しなやかに少しずつ変更できるといい。</p> <p>副委員長のアドバイスで、指定管理者制度になると、それはそれで厳しいところもあるかもしれない。7月から利用開始なので、粗々決めておきたい。</p>
事務局	<p>できるところ、できないところはある。その場で借りられるようにという話については、市の規則で事前に許可を得ることになっている。手続きを高速化して瞬時に終わらせるか、規則を変えていくということになるのですがすぐに可能かは分からないが、今のできる限りの中で、できることを盛り込んでまず運用を開始したい。</p> <p>その場で借りられるようにする、ホームページ・メール・SNS等を使って申込みが手軽にできるようにする等の課題は、昭和記念公園やほかを参考に運用について改善しながら運用していきたい。</p>

委員長	今日の議論で、こういう形でまずは出発するという事で委員の方にお諮りして対応していただきたいと思うが、よろしいか。
委員	<p>皆さまのお話を伺ってもっともだと思った。写真をまず見せて、部屋の周知に着手されたのはすごくいいと思った。</p> <p>どう使ったらいいのかが視覚、ビジュアル的に分かりにくかったので、さっと入りやすかった。広く周知という意味では、ビジュアル的なところでぱっと見せてしまうといい。地図で分かりやすくアクセスしやすいというところにポイントを置くといいと最初に参加したときから思っていたので、その方向になったと思う。</p> <p>周知を広げる点で、世代別なのか、学生なのか、ティーンエイジャーなのかによってリーチ、アクセスの方法は変わってくる。バスの利用者向けなら、法的な問題は踏まえつつ公共的なリーチをする。次の世代の人に理解をしてもらいたいなら、通学で通る駅の目に触れるところに持っていくと一番早いのかなと思う。どの世代にどう利用してもらい周知をしたいのか、ある程度大枠を決めて、それに沿った手段を選ぶ。戦略に従って手段・方法を考えるとより効率的に、意図・目的を達成できるのではないかな。</p> <p>モデルケースで、民間に委託してある程度利益追従型で運営していくことも賛成で、ヒントにはできるところは取り入れるといい。制約はあるが参考にするのはいいと思う。</p>
2. 報告事項	
事務局	<p>資料3、4について説明。</p> <p>来館者数は、令和4年度の実績は年間で5万2,400人。令和3年度4万901人、オープンした令和2年度は2万82人ということで、全体として確実に増えている。ワクチン接種会場等のためオンラインイベント等をやった関係で人数が変わってきていると思うので、5年度は4年度よりも増えるのではないかと期待している。</p> <p>事業参加者数について、令和4年度に実施したイベントを期間、参加人数、概要ということで概略をまとめた。</p> <p>資料4「市民意識調査報告書」は、3月に市から報告させていただいた調査報告で、市の施策に関する満足度・重要度について、300ページある中から抜粋した。ぜひご覧いただきたい。</p> <p>「市の施策に対する満足度・重要度」について、市の施策に関する満足度を、令和4年度版から環境啓発という項目を入れて報告をいただいている。満足度の点数順としては13位、点数が2.799。4点満点なので、真ん中ぐらいということで、環境啓発については満</p>

	<p>足されているという結果が出ている。重要度については、環境啓発は下から2番目であり重要でないという結果が出ている。この環境啓発というのが令和4年度からの調査項目に入ったので、これから市民の方の認識が増えるのではないかと思われる。</p> <p>満足度と重要部の分析で、居住地域別では、吉祥寺地域は環境啓発が比較的高く、満足度平均に近い、中央地域はちょうど平均、武蔵境地域は吉祥寺地域よりも若干高めということで、ニーズが高い項目となっている。</p>
事務局	<p>満足度では、高い・低いも当然あるが、「分からない」が53%。満足でも不満でもないが、市が環境啓発事業として何をやっているのか分からないということなので、認知度の低さを表している。満足度を順位付けすると、25項目の政策の真ん中ぐらいということで、なかなか理解されていないからこそその真ん中ぐらいになのかと感じる。</p> <p>重要度について、ここで重要度が低くなるのは、どういう施策をやっているかが分からないことの裏返しなのではないか。まずは認知度を上げていくことが課題だと感じている。</p> <p>認知度が低いことから、環境啓発の項目についてももう少しデータを取り寄せて分析した。</p> <p>満足度では、平均に比べ、女性のほうが高く、男性のほうが見えていない。</p> <p>重要度では、女性は高めに出て、男性のほうは低くなっている。若い世代のほうに重要度をあまり感じていなくて、少し年を重ねていくと感じている傾向がある。居住町名別重要度では、エコreゾート、クリーンセンターがある緑町が突出して高く、次に吉祥寺、二町になっている。</p> <p>満足度についても同様であるが、年齢別と居住町名別に傾向が見られる。</p> <p>重要度にはなかった「分からない」という項目について拾ってみたところ、環境啓発について満足でも不満でもなくて、そもそも接点がないところはどこかがあぶり出せると思ったが、全体的に「分からない」が満遍なく多いということで、傾向は見られなかった。</p> <p>年齢別の満足度については、若い方のほうが満足度が高く、年を重ねていくと満足度が下がる。重要度と逆の傾向になっている。</p> <p>居住地別では、満足度については御殿山が1位で、次が緑町。御</p>

	<p>殿山は動物園がある、緑町、八幡町、関前はこの施設に割と近いという点で高めに出てくると考えられる。</p> <p>結論としては、やはり認知度を上げていかなければいけないと思う。満足度とか認知度が低いところ、高いところ、どこから入って広げていくのかという戦略はあると思うが、そこまでに至っていない。</p>
委員長	<p>18、19 歳の対象者の人数が少ないので極端な結果になっているが、環境啓発に対して認識、そのものが分からないと。地域別で御殿山の満足度高いのは動物園が要因とのことであるが、昼間来ている小さいお子さんたちは非常に多く、お子さんを通して親御さんが知り、おばあちゃん、おじいちゃんも参加する。</p> <p>エコマルシェもコロナで開催できずにいたが、話題にする方は結構いる。</p> <p>エコ re ゾートをはじめた当初は、来館者数だけでは測れないというところも議論していた記憶があるので、総合的に見ていくことが大事だと思う。</p>
委員	<p>これを見ると、環境啓発が一つあり、気候変動での地球温暖化対策、緑化と水辺空間というのがある。特にこの気候変動は、エコ re ゾートで見るべき項目なのか。それとも、ここは環境啓発だけで、それ以外の気候変動などは見なくてもいいのか。</p>
事務局	<p>両方にまたがると考えている。エコ re ゾートは環境啓発施設ということで、生活の中や、事業者にも変わってってもらうことを考えながらやっているが、気候変動は大きな話で、2030 年とか、2050 年と期限が切られている。今、子どもに対して啓発して行って、彼らがどうにかできるかというのはすごく難しく、実利的な面もある。</p> <p>啓発的なところについてはエコ re ゾートのほうで担当し、実利に絡むようなところは環境政策課の計画係と連携してやっていくべきところなのかなと考えている。</p>
委員	<p>同じように感じた。110 ページでは、環境啓発と気候変動・地球温暖化対策はセットだと思う。</p> <p>緑化・水辺空間、ごみ、生活環境、上下水道は、ちゃんとやっってもらっているから、ある程度満足が多く出てくる。環境啓発とか、気候変動とか、地球温暖化対策は漠然としていて、抽象的で、PR 不足もあり、設問自体の問題もあると感じた。</p> <p>132 ページではまさに重要度と満足度とが正の相関関係になって</p>

	<p>いる。気候変動、地球温暖化、環境啓発は、あまり重要ではないので満足度も低い。上下水道、ごみ、緑化・水辺空間、生活環境は、みんなが非常に重要だと思っていて、市が対策をきちんと行っているから満足度も高いという結果になっている。</p> <p>重要だから、きちんとやってみんなの満足度が高い。抽象的と言われても分からない。そういうところの差ではないかと思った。</p>
委員長	<p>アンケート調査はなかなか難しい。4段階の評定尺度をもう少し極端に表れるようにする。分からないは、どういう返答パターンになっているかも見ていかないといけないかもしれない。</p> <p>結果だけ見ると、見えるものには満足し、抽象的に考えることにはどう返答していいか分からないという結果かとも感じられる。だからこそ、環境啓発の在り方が大事になる。1階のフロアで展示が心に響いて行動変容を促す、あるいは学び合いの場として対応できることがそもそもの目的の施設なので、そういったところを促す。</p> <p>教育研修が始まるが、学校の先生は事例を多く求める。それが自分の授業に生かされるかという、そんなことはない。クラスの生徒さんを見ながら工夫しないと、児童生徒さんは付いて来ない。</p> <p>この運営会議としては、スタッフの方と、行政の方のご協力を得ながら、市民の方の啓発、行動変容までやるということで今後に期待する。</p> <p>武蔵野市が、特に地球温暖化にどう対策しているか私自身はさっぱり分からなかった。一番分かったのは東京都からのチラシ。電気代が上がっている今だからこそこと。本来は電気代が高いからやるのではないけれども。矛盾もしているなと思う。</p> <p>事前の打ち合わせで、小まめに電気を消したからCO2がどの程度減ったという例示はなかなかできないという話をした。具体的に私も答えがない。</p> <p>今、ドイツや北欧などで、若い方が地球温暖化に対していろいろとアピールしているが、その運動が先鋭化してきているというニュースを見た。日本でそれがなじむために、こういう施設がより一層大事だと思い始めている。</p>
委員	<p>資料3の事業参観者数に小中学校団体者数15件とあるが、小学校が全員ここに参加したのか、小学校の1クラスがここにきたのか。</p> <p>武蔵野市の何年生かを対象に、年1回はこちらに参加してもらえば、それをノウハウとしてほかの市からも来てもらい、ここの認知</p>

	度が上がるのではないかと前に提言した
委員長	クリーンセンターとの関係もあるかと思います。
事務局	<p>クリーンセンターとこのエコ re ゴートの見学、社会科見学ということで市内の市立小学校4年生を対象に、昨年度、今年度と実施している。1校につき2クラスないし3クラスが2日間等に分けて見学に来られた。昨年度は12校中10校の見学があった。</p> <p>今年度も、昨日に井の頭小学校があった。今後夏休みに入るので、秋以降に来られるのではないかと考えている。一小学校ではなく、すぐ近くの武蔵野東小学校からも見学等があった。クリーンセンターとの関係もあると思う。</p>
委員長	小学校の学習指導要領で4年生でごみのことを扱う。そのためにクリーンセンターに来て、こちらにもという形。そのプログラムもスタッフの方が用意している。
委員	クリーンセンターは私たちも全部見学した。ここではどういいうプログラムを子どもたちにしているのか教えていただきたい。
事務局	<p>こちらに来られるまでで30分、クリーンセンターで1時間、こちらで30分。学習指導要領では、子どもたちに自分たちの暮らしから出るゴミがどうなっているのか、どうしたらいいかを考えられるようにもっていくとある。10分刻みぐらいに三つのメニューを入れている。</p> <p>まずこちらの施設とクリーンセンターに行く前に考えてもらいたいことをパラパラ漫画で見せる。次に生き物のつながりや、何が何に食べられているのかというような話をし、その後につながるゲームで秘密の言葉を探していく。最後に実際の秘密が働いている場所、生ごみ堆肥の場所を見に行く。</p> <p>自分たちの出すごみが自然の中で循環して、自然の中に戻るものと戻らないものがあることを認識する。ごみ処理をする前の段階で、自然の循環の大きなサイクルと、人間の暮らしがはみ出ているということ遊びながら認識してもらおう。その後実際の処理を見に行くという仕掛けをしている。</p> <p>遊びながらやるメニューなので、子どもたちはかなりテンションが上がって、楽しんで、頑張って見に行くぞというような意気込みになって、クリーンセンターに送り出しをしている。</p>
委員長	セットになっているところがみそ。4年生で学習して、総合的な学習の探究、5年生、6年生、中学生、高校生までつながっていったくればありがたいと思う。

	<p>昨年度、こどもエコクラブの数が 40 件近くになった。今年度始めたばかりだが、スタッフの方たちが各学校にチラシを置いている。ぜひこどもエコクラブに入ってチャレンジし、ここを使っていたきたい。中高校生もここで勉強して、探究していただければありがたい。</p>
委員	<p>来館者が多いと思った。来館者の比率等がある程度データで分かったので、今後はどの程度アップしたいのか、どの世代の人たちに分かりやすくするにはどうするのか等、具体的に考えてもいいと思った。</p> <p>この人数と参加者の関係と、これからの方向と戦略がどういう関係になるのか、今の資料から見にくい。もっと明確にすると、より具体的に参加者が増えて認識が高まり、意図してこの利用をするようになるのではないか。</p> <p>社会人、学生、小学生や低学年では、利用の目的、使う意識は違う。その世代を狙ったプロジェクトなのか、この相関関係が明確になるような活動をするとう定着してくる気がする。</p> <p>社会人に環境の意識をさせるなら、どこに広告を打つか。学生だったら学祭や、そういうイベントでアピールする。小学生には社会科見学みたいなプログラムのコース、低学年は地域のことを学ぶプログラムがあると思うのでそこにリンクさせると、効率のいい活動を立てやすいのではないか。</p>
事務局	<p>環境教育は、気付きや学びという言葉があり、専門の方によると、イン、アバウト、フォーのような言い方があると伺っている。環境の中で体験する、環境について学ぶ、環境のために行動を考える。それがアクションにつながっていく段階になる。それが子どもの発達段階や社会での役割と連動していく。</p>
委員	<p>こういう説明の仕方は分かりやすい。左にターゲットの対象となる人の年代層、右に目的、範囲。この縦と横で、手っ取り早く 2 点軸から考えてみるとマッピングしやすい。</p> <p>何となく全員に周知して、全員に分かってもらいたいという言い方をずっとしていると、どこにもヒットしない。それなら高校生が学べるプログラムを持ってきて、一つ一つの活動の焦点をどこに、どの軸に入ってくるかを意識して活動すると、一回一回の活動の点が線になり、線が面になってくるのかなという気がする。</p> <p>このグラフは見せ方的な軸から考えると分かりやすく、意見も出しやすい。ヒントも出しやすいかなという気はする。</p>

事務局	<p>それをたたき台にし、いろいろ方とお話ししながら勝手に付け足した。館内利用やイベントの利用者数を測るのは、この気付きの体験イベント系の指標にはなるが、さらに学び合うような話になると、100人、200人いて学び合うのは非常に難しい。実際には講座のような形で、多くても20人、30人のプログラムになっていく。そこは、数より深さ、そこでいったい何を学ぶのかみたいな話が指標になってくるのかなと思ってやっている。</p> <p>今回の館内利用については、一番左側のすごく小さな子どもたちについてはもう的を射ている。それに引きずられて子育て世代の親や、そこまで関わりがない中高生、大学生とといった方たちの気付きの場所として、今5万2,400人分用意できているという見方になると考えている。</p>
委員	<p>われわれが社会人の中でプロジェクトを組むときに、より客観的に視聴者に分からせるために色の濃淡を使うときがある。小学生のものづくりで広く浅く見せたいなら薄い黄緑色を広く、環境の学校等で大人への深いプロジェクトであれば、円は広くなく濃いめの色にするなど、色の濃淡や円の広さで、プロジェクト計画の意図が分かるかと思う。</p> <p>今は平面で同じ大きさなので、みんな同じような深さと、対象の広さに見えてしまうが、円やマス大きさや濃さで表すと、1枚の紙の中で、どういうプロジェクトをしようとしているかがより分かりやすくなる。</p> <p>結果的に、来館者数が数字で上がってくれば、その数字との相関関係をひも付けて説明しやすくなるので、先のことが分かりやすくなると思う。</p>
委員長	<p>この図を基に、小学生4年生は学習に来るけれども、5年生以上と中高校生はある意味で一緒のカテゴリーでいいかもしれないとアドバイスした。行政の方とスタッフの方がデータを基に、どういうプロジェクトをやっていくか対話を重ねて、次期の運営委員会にお諮りしていただければありがたいと思う</p>
事務局	<p>資料5についての説明。</p> <p>環境展は、6月1日から本日6月30日までこちらのフリースペースで開催された。6月環境月間もあり、市から市民の方に知っておいてほしい情報をまとめて示し、暑い時期なので気候変動について知らせするものとして使いたいと考えた。環境展のパネルは内容のかなりの部分が気候変動に関する。今フリースペースにある。</p>

このパネルは期間終了後も撤収せず、展示物を見た方からアンケートを分析して確認し、補強して7月のイベント時にもう一回しっかり触れていただくことが大事だと思っている。

追加資料2の説明。

ワークショップ・体験機会の日時と内容を一覧表にまとめた。団体の方々にご協力いただけるプログラムメニューをこの施設でやっていただくのが基本的な流れで、7月22日の土曜日から8月20日の日曜日まで4週間の催しになっている。

昨年度が18件、今年度のリストが20件ほど。基本土日の開催だが、あまり重ならず分散していて日替わりでいろいろなワークショップが行われる。何もなくて展示だけでもあまり見てもらえないが、工作教室のような楽しいイベントがあると結構見ていただける感触がある。もう一回しっかり見ていただく機会にしたい。

井の頭自然文化園で行う回をつくるなど、いろいろなバリエーションを想定している。市報の1面にこの情報が入ると併せて、小学校の全員に配布するチラシを今準備中で、夏休み前に全小生に行き渡らせてしっかりと周知していきたい。

資料6についての説明

「緑のカーテンレポーター募集」では、物を配って終わりではなく、育てている様子をレポートに書き、みんなで共有するスタイルに切り替えた。6月の苗の配布と併せて育て方の講座を行い、55名ほどが参加した。配布はエコreゾート、吉祥寺地区、境地区両方の農業公園の3カ所で、農業公園の管理運営団体が月2回必ず講義をする日があり、育て方等の相談に乗ってもらえる体制をつくった。約150世帯分のレポーターが確保できているので、育成状況やレポート提出などの案内をこまめにしていきたい。

追加資料1の説明

6月14日に19回目の連携会議を開催した。いろいろな団体の方々に意見をいただく機会として12回開催、コロナの状況により書面開催となっていたが継続はしてきた。今回は今年度の内容と課題について、利用のルール改善や、利用のないときに市側が集まっていたり機会をつくること、環境フェスタ等についての意見を伺った。

11月開催の環境フェスタは、いろいろな団体が一堂に集まってさまざまな方々と交流できるので継続したい、できれば実行委員会形式を取ったほうが良い等の意見があった。また、開催日程を数週間

	<p>に変更、隣接施設のイベントと同日開催などについて賛同をいただいた。</p> <p>利用のルールについては煩雑な手続きの緩和、認知度やアクセスの向上、ここだけでなく外に出て行って行うことについて、さまざまなご意見をいただいた。</p>
委員長	報告についてご希望があれば事務局にお問い合わせを。
3. その他	
	退任あいさつ
委員長	今回で2期の運営委員会が終わるので、各委員からご感想、ご意見を。
副委員長	<p>エコ re ゾートには長く付き合ってきた。施設ができたのにコロナがあって、欲求不満で非常にもどかしい。ここを離れてフリーになるので、エコ re ゾートにフィールドをつくる企画を今立てている。</p> <p>六長調の委員にもなっているが、長期計画のいろいろなジャンルの中で、緑はその全部関わっている。そこを軸にしてこの活動のフィールドをつくったらどうかと考えている。いずれ具体的にお披露目したい。</p>
委員	<p>この施設ができた時点で関わり、直後に新型コロナウイルス感染症が起こり、ここまで戻ってきたところで終わりとなった。</p> <p>スマホ版エコ re ゾートのページは、写真もあり、スタッフの方のニックネームも親しみやすくいいと思う。</p> <p>ここができてすぐはみんなが大変で、再開できたらこうしたいという熱が大変高く、実際に忙しくなってきたこれからも持続してもらえればと思う。委員からは離れるが、またここを訪れていると活動させていただきたい。</p>
委員	<p>いろいろ勉強させていただいた。期間中ほとんどコロナだったので、オンライン会議を後で懐かしく思い出さだろうと思う。</p> <p>水の関係をやっているのも、水循環を中心とする環境啓発に努めていきたい。夏の環境フェスタでも、「水の学校サポーターズ・サロン」で「下水に流していけないものは何?」「詰まらん管」という実験を2カ月ぐらいやるので、引き続きよろしくお願ひしたい。</p>
委員	<p>クリーンセンターの運営協議会から参加した。地域としてこの施設にも深く関わっていたので、運営はすごく気になった。市で管理する形だが、指定管理者選定もまだ模索中だと考えている。</p> <p>コロナの影響もあって実績が上がっていない面はあるかもしれ</p>

	<p>ないが、市が運営する形で個や団体が参加し、市民それぞれが強くなって関わっていく在り方がもう少し追求されるといいと思う。</p>
委員	<p>保育園で働く立場で、子育て家庭に関わる立場としてお世話になった。エコ re ゾートが子育て世代、小さい子たちに親しみを持ってもらい、来るのを楽しみにする子がいることを感じられたのはすごく良かった。</p> <p>一方で、環境、啓発という言葉に距離感や、高いハードルを感じる市民の方もいる。市民に関心のある子育て支援等との掛け合わせで、施設に足を運んでもらうきっかけをどうつくっていくか、どう幅を広げていくか。今度は応援する立場、市内で働く立場だとして引き続き関わってもいきたい。</p> <p>市民の方々が運営をサポートしたり、主軸になって企画を担うことが増えて、ここが市民参画の場所になっていくことを期待している。</p>
委員	<p>緑町コミセンの委員長をしていて、隣なのでどういう施設ができるかわくわくしていた。子どもたちがコロナでコミセンに入れなかったときに、ここで遊べるという案内ができ、子どもたちの行き場があったことはうれしく感じていた。</p> <p>エコ re ゾートは市の重要な施設なので、もう少し認知度を上げて、「市役所の隣にある」というよりも、「エコ re ゾートの隣に市役所がある」ぐらいの環境にしていきたいと思って見守りたい。</p>
委員長	<p>至らない点があったと思うが、皆さまに支えられ、ご意見をいただいて、無事に2期を終わることができた。厚くお礼申し上げたい。</p>
事務局	<p>エコ re ゾートは、令和2年の11月にオープンし、ようやく本格稼働して半年を迎えた。市議会からもたびたび質問やご意見をいただき、だんだんと注目されるようになったが、市民アンケートにもあったように、より一層さまざまな年代の方を啓発して注目されなければいけない。委員の皆さまからいただいた貴重な意見を参考に、今後の運営に生かしていきたいと思っている。</p>
事務局	<p>エコ re ゾートが開館し、利用のルールや運営方法がある程度固まってきた。皆さまが苦勞して議論されてきた成果だと考えている。次期運営会議の委員の方についてはまだ検討中だが、引き続きお願いさせていただく方も考えている。</p> <p>今後については、利用ルール等はできてきたので、推していくべきターゲット等を考えながら、これまで接点を持てなかったところと接点を持ち、これまでお付き合いしていた方々とも今まで以上に</p>

	<p>気軽に情報共有して連携し、ご相談させていただきながら運営でしていきたいと考えている。</p>
委員	<p>倉庫のところの冷蔵庫の件はどうなったのか。</p>
事務局	<p>フードバンクについては、国の法律ができ、市としても事業を支援しなければいけない。市が直接行っている事業ではないが民間団体等への支援が規定されているので、市民参加の事業というより市の事業という位置付けで置かせていただければと考えている。</p> <p>啓発施設なので置いておくことは施設の趣旨に反すると思うが、一つの環境活動が身近にできた前向きに捉えながら動かしていきたい。食品は身近な問題なので、その身近な環境の切り口として利用し、環境啓発の中に組み込んでいきたい。</p> <p>運営会議の皆さまにもご理解いただき、市が対応していきたいと考えている。</p>
委員長	<p>議題に載せるかを事前に事務局と打ち合わせをした。</p> <p>武蔵野市は、住民参加型では情報公開をきちんとして、コラボレーション、協働をしていくことが基本方針だと思うので、そこを事務局に説明して、今回は議論を深めないことした。</p> <p>ご協力いただきましたことを感謝申し上げて、座長を終わりたいと思う。</p>